

シンポジウム HALL A：丸ビルホール				ワークショップ HALL B：コンファレンススクエア			
3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)	3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)

シンポジウム（HALL A：丸ビルホール）

3月5日（火）		
A01	8:55-9:00	主催者挨拶
A02	9:00-9:05	挨拶 岸田文雄 内閣総理大臣
A03	9:05-9:15	挨拶 鈴木俊一 財務省 財務大臣 内閣府 特命担当大臣（金融）
A04	9:20-9:40	金融庁対談 欧州当局のデジタル戦略～デジタル資産や AI への対応～ ベレーナ・ロス 欧州証券市場監督機構（ESMA）長官 三好敏之 金融庁 国際総括官 概要：
A05	9:50-10:10	単独講演 デジタル技術で明るい未来を切り拓く 加藤勝彦 全国銀行協会 会長 みずほ銀行 取締役頭取 概要：我が国の社会・経済にとって、次なる成長を展望するにあたり、デジタル技術の活用は不可欠です。銀行界の視点で、AI の活用、銀行業務の効率化等、デジタル技術をどのように活用しているかについて、ご紹介します。
A06	10:20-10:40	単独講演 ソニー銀行の web3 戦略 南啓二 ソニー銀行 代表取締役社長 概要：ソニー銀行は、ソニーグループそしてソニーフィナンシャルグループの一員として 2021 年に創業 20 周年を迎えました。引き続きインターネットを活用して、お客様に安心安全で便利な金融サービスを提供すると共に、web3 領域においてもグループ連携を軸に積極的に取り組んでいます。直近の web3 関連の取り組みや、近くリリース予定の新プロダクトなど我々の戦略をご紹介します。
A07	10:50-11:30	講演 Generative AI が変える金融機関の未来 ～Microsoft Japan will Empower and Copilot Your Growth～ 津坂美樹 日本マイクロソフト 代表取締役 社長 金子暁 日本マイクロソフト 業務執行役員 金融サービス事業本部 銀行・証券営業本部長 概要：2023 年は Generative AI 元年として、日常生活やビジネスを根本的に変えるテクノロジーとして広がりました。2024 年、Generative AI は情報を要約し提供するだけでなく、Copilot としてクリエイティブな作業を支援し、業務を効率化し、金融機関の未来を大きく変化させます。マイクロソフトの Generative AI の取り組みを金融機関における活用のシナリオをご紹介します。
A08	11:40-12:30	金融庁パネル AI が描く金融の未来：リスクを超えて 津坂美樹 日本マイクロソフト 代表取締役 社長 松尾豊 東京大学大学院 工学系研究科 教授 松橋正明 セブン銀行 代表取締役社長 柳瀬護 金融庁 総合政策局 審議官 モデレーター：

		岡田拓郎 一般社団法人金融データ活用推進協会 代表理事 デジタル庁 プロジェクトマネージャー 概要：金融セクターにおいても生成 AI の導入が進展する一方で、その潜在的リスクから活用に慎重な姿勢を見せる先も多い。「やらないリスク」も指摘される中、金融セクターは AI の技術革新にどう向き合うべきか。金融セクターにおける具体的な活用事例や政府の取組みも交えながら、産官学のキーパーソンが今後の展望を描く。
A09	12:40-12:50	デモステージ Helpfeel ～地銀の事例に見る～カスタマーサポート DX を実現する革新的な自己解決ツール「Helpfeel」の活用 三田岳明 Helpfeel セールス部 セールスマネージャー 概要：コロナ禍以降、顧客接点がオフライン(実店舗)からオンライン(web やアプリ等)へと大きく移行しました。こうしたなかで、非対面型の顧客接点をチャンスにするカスタマーサポート DX の重要性が増えています。本セッションではカスタマーサポート DX を実現し、顧客満足度向上や業務効率化を実現できる革新的な自己解決ツール「Helpfeel(ヘルプフィール)」について地銀での導入事例を交えてご紹介します。
A10	13:00-13:10	挨拶 植田和男 日本銀行 総裁
A11	13:30-13:50	単独講演 “幸福”な成長を追求するアフラックの挑戦 二見通 アフラック生命保険 取締役専務執行役員・CTO（チーフ・トランスフォーメーション・オフィサー）・CDIO(チーフ・デジタル・インフォメーション・オフィサー) 概要：アフラックは、「がんに苦しむ人々を経済的苦難から救いたい」という想いのもと、日本初のがん保険と共に創業し、本年 50 周年を迎えます。 保険領域にとらわれず、デジタルの活用や様々なステークホルダーとの協業によって、「経済価値の追求」と「社会的課題の解決」の両立を実現し、生活者の“幸福”な成長に貢献してまいります。 その一例として、保険業界における生成 AI を活用した新たな挑戦や、自治体等との共創をご紹介します。
A12	14:00-14:40	単独講演 金融サービスの顧客体験を変革するアマゾンの DNA ～生成 AI からレジリエンシーまで - AWS の金融ビジネス戦略～ 鶴田規久 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 執行役員 金融事業統括本部 統括本部長 概要：私たちアマゾン ウェブ サービス (AWS) は、アマゾンの DNA を活かし、金融サービス事業者が、お客様体験を変革することをご支援します。生成 AI によるカスタマーサポートの高度化、お客様目線でサービスの継続性を実現するオペレーショナル・レジリエンシーなど、クラウドは金融サービスにおける顧客本位のイノベーションを支えます。本セッションでは、多くの金融サービス事業者の AWS を活用した最新のイノベーション事例のご紹介、そして生成 AI やレジリエンシーへの取組みを中心に、日本の金融インダストリーにおける AWS の今年の注力領域をご紹介します。
A13	14:50-15:40	パネル SMBC グループと語る、スタートアップと共に実現する日本の再成長 磯和啓雄 三井住友フィナンシャルグループ 執行役専務 グループ CDIO 北風大輔 ベイカレント・コンサルティング 常務執行役員 コンサルティング本部長 和田安有夢 ベイカレント・コンサルティング コンサルティング本部 エグゼクティブパートナー 概要：近年日本でも政府や経団連などが中心となり、官民一体でスタートアップ支援に注力しており、新たな転換点を迎えようとしている。様々な顧客基盤を有する金融機関においても、新たな産業や事業を創出し、社会課題解決を実現していくためには、スタートアップ支援や共創が必要不可欠である。本セッションでは、SMBC グループの取組内容を紹介しながら、スタートアップと共に実現する日本の再成長について、どうあるべきかを議論する。
A14	15:50-16:40	パネル EY Japan、NEC、マイクロソフト 3 社による「生成 AI & 生体認証による金融ビジネス革命」 小川恵子 EY ストラテジーアンドコンサルティング 金融サービス バンキング・アンド・キャピタル（銀行・証券）マーケットリーダー、 レグテックリーダー、パートナー 岩井孝夫 NEC Corporate SVP 兼 金融ソリューション事業部門長 金子暁 日本マイクロソフト 業務執行役員 金融サービス事業本部 銀行・証券営業本部長 概要：

A15	16:50-17:40	金融庁パネル デジタル資産：国際金融規制のフロンティア	
		三好敏之	金融庁 国際総括官
		シン・チオン・リョン	Monetary Authority of Singapore Deputy Managing Director
		ダリル・ホー	Hong Kong Monetary Authority Executive Director (Monetary Management)
		ワイジェー・フィッシャー	Director of International Affairs, U.S. Securities and Exchange Commission
		モデレーター：	
		ジェマイマ・ケリー フィナンシャル・タイムズ コラムニスト	
		概要：大手 IT 企業によるステーブルコイン構想や大手暗号資産交換業者の破綻等を経て、各国においてデジタル資産に関する規制が進展。G7 や G20 も引き続き強い関心を示す中、主要当局のキープレイヤーが集い、これまでの取組の成果や残された課題について議論を行う。	
A16	17:50-18:10	単独講演 デジタル化がもたらす決済の未来：現金はどこへ？	
		イエロン ホルシャー キャップジェミニ ペイメントサービス グローバルヘッド	
		概要：デジタルテクノロジーの進化は、決済の領域において前例のない革新的な変化をもたらしています。ビジネスおよび変革のグローバルリーダーであるキャップジェミニは、決済に関する国際的な調査に基づいて最新のトレンドをご紹介します。業界の動向や日本市場への影響だけでなく、デジタル決済や即時決済、CBDC、ISO20022 による収益化から、生成 AI を決済に活用する可能性まで、決済に関する今後のビジョンを広範に探ります。	
A17	18:15-18:20	挨拶	
		井林辰憲 内閣府 副大臣（金融担当）	

シンポジウム HALL A：丸ビルホール				ワークショップ HALL B：コンファレンススクエア			
3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)	3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)

シンポジウム（HALL A：丸ビルホール）

3月6日（水）							
A18	8:50-9:20	英国フィンテックショーケース 1 Polydigi ポリディジ 2 LMAX Digital エルマックスデジタル 3 Insurevision.ai インシュアビジョン 概要：英国から日本市場参入を目指す、フィンテック関連企業3社が来日。先進のソリューションやサービスを紹介します。					
A19	9:30-9:50	単独講演 金融業界の変革を踏まえ、銀行が備えていく必要な人材像とは 滝安寛 ベイカレント・コンサルティング コンサルティング本部 シニアマネージャー 概要：マイナス金利解除、デジタル技術革新、人の価値観など経営環境は大きく変化し、顧客体験（CX）再設計など銀行そのものの構造改革が求められています。 上記環境下において、従来強みとして持つファイナンスやコンサルティング能力に加え、データ・デジタルを活用する能力が重要となっていきます。本講演では、これからの銀行に必要な能力をどう獲得するのか、またデジタルカルチャーをどう根付かせるのかについてご紹介します。					
A20	10:00-10:50	金融庁パネル 伝統的金融×トークナイゼーションの可能性：イノベーションとコンプライアンスの両立を目指して 齊藤達哉 Progmatic, Inc. Founder and CEO 兼 代表取締役 舩仁雄 大阪デジタルエクステンション代表取締役社長 村林聡 ディーカレット DCP 代表取締役社長 インターネットイニシアティブ 取締役副社長 ヤム・キ・チャン VP of Strategy and Policy, Circle モデレーター： 油布志行 金融庁 総合政策局 局長 概要：近年、銀行等の伝統的な金融プレイヤーがブロックチェーンの活用可能性を積極的に模索するようになり、デジタル通貨やデジタル証券などトークナイゼーションに関するユースケースも増加しつつある。AML/CFT等のコンプラに知見を持つ既存金融機関等と技術に強みを持つテック企業の連携で持続可能なイノベーションが切り拓けるか、そのための課題は何か、国内外の主要関係者が集まり議論する。					
A21	11:00-11:50	パネル Well Being な未来を実現するデジタル&データ戦略 汐満達 住友生命保険相互会社 執行役常務 萩原悠太 PREVENT 代表取締役 江川尚人 フォーネスライフ 代表取締役 CEO 岩井孝夫 NEC Corporate SVP 兼 金融ソリューション事業部門長 モデレーター： 大岩佐和子 日本経済新聞社 編集 総合解説センター 編集委員 概要：病気のリスクを最小限に抑え、誰もが健康な生活を楽しむ、希望に満ちた世界。病気になるともうまく付き合いながら、幸せな人生を過ごせる世界。 住友生命グループと NEC グループはデジタル&データを活用し、一人ひとりの多様な Well-Being に貢献する共創活動とエコシステムの形成を進めている。 本講演では、各社のビジョン・取組みに加え、共創活動が目指す未来を議論する。					

A22	12:00-12:20	デモステージ YOUTRUST Fintech 事業をより加速させる！デジタル人材を採用するには？ 岩崎由夏 YOUTRUST 代表取締役 CEO 概要：信頼でつながる 日本のキャリア SNS「YOUTRUST」は、新しいつながりやキャリアに役立つ情報・仕事と出会うサービスで累計ユーザー数は 20 万人超。ユーザー属性は 20～30 代のエンジニア・PM/ディレクター・事業開発経験者など、主にデジタル領域に強みを持つ幅広い職種の方が登録。転職頭在層だけでなく潜在層が集まる SNS の独自性を基盤にした HR Tech SaaS も法人向けに展開している。 G.U.Technologies Japan Open Chain（JOC）で融合するステーブルコインと web3 ビジネスの拡張性と可能性 稲葉大明 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CEO 概要：Ethereum 完全互換のパブリック・ブロックチェーン「Japan Open Chain（JOC）」は、国内銀行のステーブルコイン発行と大手企業の web3 ビジネスを支えるブロックチェーン基盤です。国内外の IT および web3 パートナーと連携し、多様なユースケースを生み出します。すでに JOC 対応の web3 ブラウザやウォレットにより、RWA や NFT などの web3 決済が容易になる等、JOC の利用がさらに加速することが期待されます。
A23	12:30-12:50	単独講演 デジタル経済の成長と促進 ～オンラインビジネス拡大における世界で注目される 3 つの潮流～ フラン・ライアン Stripe プロダクト開発担当役員 決済・財務サービス事業統括 概要：インターネットの GDP を成長させることを使命としている Stripe では、企業のオンラインビジネスの国内外での拡大をサポートするだけでなく、経済の不確実性が高まる中、これまで以上に企業の収益拡大とコスト削減の支援に注力しています。本セッションでは、グローバルにおけるデジタル経済の大きなトレンドを Stripe が支える事業拡大の事例を交えてご紹介します。
A24	13:00-13:20	単独講演 デジタル通貨 DCJPY ネットワークの商用スタートと今後の展開 村林聡 ディーカレット DCP 代表取締役社長 インターネットイニシアティブ 取締役副社長 概要：今年 7 月にサービス開始する民間発行デジタル通貨 DCJPY は、中央銀行デジタル通貨（CBDC）でもステーブルコインでもない、新しい通貨のカたちです。 デジタル通貨フォーラムを通じ多くの企業、自治体、銀行などと、共に検討を重ねてきた成果である「社会・企業の DX を実現する DCJPY ネットワーク」の概要をお伝えします。さらに、インターネットイニシアティブが取り組むカーボンニュートラルデータセンターの実現に向けて DCJPY がどのように活用されるのかを始め、多くのユースケースをご紹介します。
A25	13:30-15:40	ホールセール決済の将来像 powered by 日本銀行 概要：近年、ホールセール決済領域では、技術発展を取り込みつつ、改善に向けた多くの取り組みがみられています。また、新しい形態のマネーを活用する試みもみられています。この連続セッションではホールセール決済に焦点を絞り、その過去から現在にかけての発展の潮流や近年における新しいマネー、現在の実務における課題、これらを踏まえた決済の将来像に関する論点について、実務家や学者の方々にご登壇頂き、パネルディスカッションを行います。 ・ 第一部 13:30-13:50 単独講演：ホールセール決済の過去・現在・未来 須合智広 日本銀行決済機構局決済システム課長 概要：日本銀行より、続く 2 つのセッションでの議論に向け、情報技術の発展に伴うホールセール決済における過去から現在にかけての発展の潮流や、ステーブルコイン、トークン化預金、ホールセール CBDC といった新しい形態のマネーの活用に向けた試みについて、実例と共に紹介します。 ・ 第二部 13:50-14:40 パネル：ホールセール決済の現在の課題 染谷悟 トレードワルツ 執行役員 COO、CMO 兼 マーケティング&セールス本部長 田貝征之 JP モルガン・チェース銀行 東京支店 インダストリー・イシューズ 決済事業本部 マネジング ディレクター

		フェルナンド・バスケス SBI デジタルアセットホールディングス 代表取締役 CEO 渡邊仁 三菱 UFJ 銀行 経営企画部事業開発室 次長 モデレーター： 小早川周司 明治大学 政治経済学部 教授 概要：ホールセール決済の現在の実務における課題や、その改善に向けた取り組みとともに、そうした取り組みを進めるうえで残された課題について、実際に実務に携わる方々に紹介頂き、意見交換をして頂きます。 ・ 第三部 14:40-15:40 パネル：ホールセール決済の将来像 磯和啓雄 三井住友フィナンシャルグループ 執行役専務 グループ CDIO 小早川周司 明治大学 政治経済学部 教授 戸村肇 早稲田大学 政治経済学術院 教授 武田直己 日本銀行 決済機構局 決済機構局長 モデレーター： 柳川範之 東京大学 大学院経済学研究科 教授 概要：技術革新や外部環境の変化を踏まえ、既存のホールセール決済インフラの中での改善を目指すとするれば何をすべきか。新しい技術によるインフラを導入する場合には、ホールセール決済システムの全体像をどのように描いていくべきか。ホールセール決済システムの将来について、実務、アカデミズム双方の視点からその全体像を俯瞰するような議論を行います。
A26	15:50-16:40	金融庁パネル デジタル・マネーと決済・送金の未来 栗田照久 金融庁長官 高瀬英明 三菱UFJフィナンシャル・グループ 代表執行役常務 グループCSO 瀧俊雄 マネーフォワード グループ執行役員 CoPA Fintech 研究所長 ベネディクト・ノレンス BISイノベーションハブ香港センターヘッド モデレーター： 別所昌樹 日本銀行 決済機構局 FinTech センター長 概要：CBDC（リテール・ホールセール）、ステーブルコイン、資金移動業など、国内及びクロスボーダー送金・決済の高度化に向けて様々な議論が進展している。潜在的な競合関係を指摘される取組みもある中で、社会がより便利に、より豊かになるためには何が必要か。デジタルに起因するリスクへの対応も求められる中、官民の主要ステークホルダーが集い送金・決済の将来像について議論する。
A27	16:50-17:40	パネル RWA（リアルワールドアセット）の衝撃 森川夢佑斗 Ginco 代表取締役 近藤秀和 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CTO 菊池マサカズ Secured Finance AG Founder 兼 CEO 若原幸雄 金融庁 企画市場局 参事官 モデレーター： 牛田遼介 金融庁 総合政策局 フィンテック参事官室 チーフフィンテックオフィサー 概要：
A28	17:50-18:40	パネル ・ 前半：三井物産のデジタル金融戦略 石田大助 三井物産 執行役員 コーポレートディベロップメント本部長 概要： ・ 後半：暗号資産決済の未来 米山裕介 LINE Xenesis 取締役 COO 中村奎太 メルコイン 代表取締役 CEO モデレーター： 辰巳喜宣 三井物産デジタルコモディティーズ

概要： 三井物産デジタルコモディティーズでは、ゴールドに連動することを目指す暗号資産「ジパングコイン」を国内で発行しています。将来的な送金や決済手段としての活用を検討していますが、現状の暗号資産は他の決済手段と比較すると利便性に課題があります。今回はグループ企業内に決済サービスを有する暗号資産交換業者と共に、決済通貨として暗号資産やステーブルコインについてパネルディスカッションを行います。

シンポジウム HALL A: 丸ビルホール				ワークショップ HALL B: コンファレンススクエア			
3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)	3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)

シンポジウム (HALL A: 丸ビルホール)

3月7日 (木)

A29	9:00-9:50	金融庁パネル Asian Fintech 最前線 沖田貴史Fintech 協会代表理事 ナッジ代表取締役 Nicole NguyenFounder - Vietnam Fintech Festival Aries SetiadiExecutive Director, Indonesia Fintech Association モデレーター： アモール・マクランConvener, Digital Pilipinas 概要：アジア各国のフィンテック動向、我が国事業者にとっての潜在的な進出可能性、また日本との連携強化による更なる付加価値創造の可能性などについて徹底討論。
A30	10:00-10:20	基調講演 村井英樹内閣官房副長官 概要：
A31	10:30-10:50	金融庁対談米国デジタル通貨政策のゆくえ クリストファー・ジャンカル元 CFTC 長官 クリス・ブルーマー米ジョージタウン大教授 概要：
A32	11:00-11:50	パネル 日本のキャッシュレスにおける課題とイノベーション ～ 2025 年大阪・関西万博とそのレガシー ～ 松隈健一経済産業省 キャッシュレス推進室 室長 渋谷珠紀三井住友フィナンシャルグループ トランザクション・ビジネス本部 執行役員 トランザクション・ビジネス本部長 吉田世博HashPort 代表取締役 CEO 河本健一公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 企画局長 モデレーター： 鷺見周久政策研究大学院大学 理事、客員教授 概要：2025 年大阪・関西万博では、会場での全面的なキャッシュレス決済を導入するとともに、万博のテーマである「デジタル」「未来への行動」を個人が感じ参加するツールとして Web2、Web3 領域の一つのアプリで提供する「EXPO2025 DIGITAL WALLET」サービスをスタートしています。 本セッションでは、万博を契機とした目指すべき日本のキャッシュレスの未来、決済やブロックチェーンを活用した新技術の進歩、さらに、期待される万博のレガシーについて議論します。 また、FIN/SUM とのコラボ NFT を会場に来場者に配布しますので、事前に「EXPO2025 DIGITAL WALLET」アプリを是非、ダウンロードください。 <ダウンロードサイト URL> https://www.expo2025.or.jp/news/news-20231023-04/
A33	12:00-12:25	デモステージ クレジットエンジン 新色顕一郎クレジットエンジン取締役 COO

		グローシップ・パートナーズ 投資型クラウドファンディングシステム『Crowdship Funding』とデジタル証券発行・管理システム『OwnerShip』の紹介 松井晴彦 グローシップ・パートナーズ 代表取締役、オーナーシップ 代表取締役 概要： 50社以上の事業者が利用する投資型クラウドファンディングITプラットフォーム『Crowdship Funding』とGK-TKスキーム採用のデジタル証券（セキュリティ・トークン）発行・管理システム『OwnerShip』を紹介します。 xID 金融分野のeKYC2.0 ～マイナンバーカード活用による金融DX～ 日下光 xID 代表取締役 CEO 概要：2023年5月にデジタル庁が発表したデジタル重点計画により、犯罪収益移転防止法のワ方式(JPKI)以外の手法の廃止の検討が示されています。それに伴い、金融機関のマイナンバーカード活用の検討は待ったなしの状態です。マイナンバーカード活用で実現できる金融分野のDXとその課題についてお話しします。
A34	12:30-12:50	単独講演 大和証券グループの目指すデジタル・イノベーション ～Web3.0領域への取り組みと今後の展望～ 板屋篤 大和証券グループ本社 常務執行役員 概要：大和証券グループでは2016年よりWeb3.0領域の将来性に着目し調査を開始。ST、暗号資産、メタバース、生成AI等ビジネス環境の変化に迅速に対応してきました。 本セッションでは、Web3.0やAIに関する取り組み事例を交えながら、こうした取り組みの意義やスタートアップとの協業等、今後の展望についてご紹介します。
A35	13:00-13:20	単独講演 フィンテックのフロントランナー都市 OSAKA への挑戦 吉村洋文 大阪府 知事 概要：大阪では、「国際金融都市 OSAKA 戦略」を掲げ、産官学一丸となりオール大阪で国内外のフィンテック企業の誘致に取り組んでいる。フィンテックの力を大阪に結集し、2025年大阪・関西万博をはじめとしたビッグプロジェクトを起爆剤として、経済成長や社会課題の解決に繋げていく。
A36	13:30-13:50	単独講演 ともに挑む。ともに実る。〈みずほ〉のDXの最前線 梅宮真 みずほフィナンシャルグループ 取締役 兼 執行役副社長 グループ CDO 概要：〈みずほ〉は新パーパス「ともに挑む。ともに実る。」を掲げ、みずほグループの強みを活かし、社会やお客さまとともに、持続的な成長・豊かさへの礎を築くことを目指しています。本セッションでは〈みずほ〉のDXの取り組みをご紹介します。
A37	14:00-14:50	パネル web3.0 金融 ～電子署名、電子請求のチェーン化から生まれるフィンテック革新 平将明 衆議院議員 宿輪純一 帝京大学 経済学部 教授・博士(経済学) 社会貢献公開講義 宿輪ゼミ 代表 尾島司 イオン 執行役 事業推進・ブランディング担当 安原貴彦 みずほ第一フィナンシャルテクノロジー 代表取締役社長 小倉隆志 リーテックス 代表取締役 モデレーター： 関口慶太 日本経済新聞社 金融・市場ユニット フィンテックエディター 概要：経済のデジタル化の進展に伴い電子署名や電子請求が急速に普及しつつある。そこにブロックチェーン技術などを使ったイノベーションを起こすことで、企業の商流に対応した新しい金融に道筋をつける動きが出始めた。世界の中でも日本が先進的に取り組んでいる web3.0 領域における有力なユースケースになる可能性もあり、期待が高まっている。
A38	15:00-15:30	対談 脱炭素を見据えた Green Blockchain データ戦略 マックス・フア ビットメインCFO 二宮暢昭 ムロオシステムズ Green Blockchain 担当 執行役員

周 冠峰 Antalpha Prime 最高戦略責任者

概要： グローバル戦略としての再生エネ先進国のエチオピアでの DC 建設

A39 15:40-16:30

パネル 地方金融の未来: 人材育成と AI 時代のデータ活用

村木圭 金融庁 監督局銀行第二課地域金融企画室 室長

河合祐子 高知銀行 副頭取 FDUA 理事

小貫利彦 コンコルディア・フィナンシャルグループ取締役 横浜銀行常務執行役員

神野善則 信金中央金庫 常務理事

モデレーター：

小川幹雄 DataRobot Japan 副社長

一般社団法人金融データ活用推進協会 企画出版委員会 委員長代行

概要：地方銀行や信用金庫が直面するデジタル化の波。変革の中で生き残り、繁栄していくためには、次世代のデジタル人材の育成やデータドリブンな意思決定が必要不可欠です。このセッションでは、AI、データ活用が地方経済に革命をもたらす可能性を探りながら、金融データ活用推進協会における成功事例の共有、コンペ開催といった取り組みも交えて、地域金融機関における具体的な事例と共に解き明かします。

A40 16:40-18:10

インパクトピッチ

1 Socious

6 TOGGLE

2 JPYC

7 Dozn Corporation

3 あるやうむ

8 Next Finance Tech

4 ブルーモ証券

9 Lecto

5 SARAH

10 Fivot

審査員：

松下克俊 SMBC ベンチャーキャピタル 執行役員

堺美夫 三菱地所 xTECH 運営部 ユニットリーダー

東京医科歯科大学 産学連携研究センター クリエイティブマネージャー

竹田明央 日本生命保険相互会社 イノベーション開発室 調査役

松澤翔太 Decima Fund 共同創業者 デジタル庁 Web3.0 業務エキスパート

関口慶太 日本経済新聞社 金融・市場ユニット フィンテックエディター

概要：自社の持つフィンテックのサービスや製品で、こんな社会課題を解決するといった、社会課題解決型のスタートアップのピッチです。最終選考に選ばれた 10 社が、最優秀賞をかけてファイナルピッチに臨みます。

シンポジウム HALL A：丸ビルホール				ワークショップ HALL B：コンファレンススクエア			
3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)	3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)

シンポジウム（HALL A：丸ビルホール）

3月8日（金）							
A41	8:30-9:20	パネル 金融領域におけるマイナンバーカードの利活用と地域創生 村上敬亮 デジタル庁国民向けサービスグループ グループ長 寺井尚孝 北國フィナンシャルホールディングス 経営企画部 常務執行役員 経営企画部長 北國銀行 デジタル部 常務執行役員 デジタル部長 千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO 飯田哲夫 アマゾン ウェブ サービス ジャパン金融事業開発本部長 モデレーター： 松澤 翔太 Decima Fund 共同創業者 デジタル庁 Web3.0 業務エキスパート 概要：マイナンバーカードの保有枚数が 8800 万枚を超え、全人口の約 7 割に達するなか、金融領域において同カードと連携した DX サービスが注目される。デジタル地域通貨を発行して地域の生産性向上、利便性向上を図る動きも現れる。今後、マイナンバーカードと金融 DX の連携がデジタル社会に欠かせないインフラになっていくために何が必要か、議論する。					
A42	9:30-10:20	金融庁パネル ～保険の新たな販売手法～ 組込型保険のポテンシャル 生田目雅史 東京海上ホールディングス グループチーフ・デジタル・オフィサー 常務執行役員 東京海上日動火災保険 常務執行役員 東京海上レジリエンス 代表取締役社長 兵頭裕 PayPay 保険サービス 代表取締役社長 CEO 三浦知宏 金融庁 監督局 保険課長 モデレーター： 林良太 Finatext ホールディングス 共同創業者 / 代表取締役社長 CEO 概要：日本における組込型保険（Embedded Insurance）の市場は新規プレーヤーの参入や既存保険会社にとっては新たな販売チャネルとなり得る一方で、まだ発展途上であり成長のポテンシャルを秘めている。より良い顧客体験を創出するための課題や官民連携の可能性などについて各キーマンが議論。					
A43	10:30-10:50	単独講演 SMBC グループの社会的価値創造に向けた取組 高梨雅之 三井住友フィナンシャルグループ 執行役員 グループ チーフ・サステナビリティ・オフィサー 概要：SMBC グループでは、社会的価値の創造を経営の柱に据え、社会課題を主導して解決することで「幸せな成長」の時代に貢献することを目指しています。このセッションでは、私たちの考え方や主な取組についてご紹介します。					
A44	11:00-11:50	金融庁パネル グリーンフィンテック最前線 ～テクノロジーでグリーンウォッシュを防止する～ 田尻貴夫 ソニーコンピュータサイエンス研究所 プラネタリーナビゲーショングループ プロジェクトリーダー 石橋誠之 森・濱田松本法律事務所パートナー 中久保菜穂 シェルパ・アンド・カンパニー CEO（Chief ESG Innovation Officer） 池田賢志 金融庁チーフ・サステナブルファイナンス・オフィサー 概要： フィンテックとサステナブルファイナンスは、金融界に新しい波を起こした 2 大テーマである。サステ					

		ナブルファイナンスの更なる資金動員のため、あるいはリスクを回避するためにフィンテックに活用されるような技術を導入することで、金融にイノベーションをもたらすことができる。今回は、特にサステナブルファイナンスにおける代表的課題である、グリーンウォッシュの防止のためのフィンテックの活用の可能性を議論する。グリーンウォッシングに係る監督当局等の規制やガイドラインの国際的目線を、どうテクノロジーが整合させていくことができるか、具体的な取組みも交えて議論を行う。
A45	12:00-12:10	デモステージ Ginco なぜ、今、Web3 インフラが必要なのか？ 房安陽平 Ginco 取締役副社長 概要：2024 年 1 月、米国でビットコイン現物 ETF がついに承認されました。また RWA(現実資産)のトークン化による市場は現在約 1160 億ドルとされ、今後 10 年で 10 兆ドルに達すると言われています。このように今日では、金融と Web3 の経済圏が相互に交わり、デジタルアセット市場が急拡大を遂げています。この市場で Web3 事業を効果的に創出し発展させていくために必要なインフラについて紹介します。
A46	12:30-13:30	表彰式 第 2 回金融データ活用チャレンジ 油布志行 金融庁 総合政策局 局長 岡田拓郎 一般社団法人金融データ活用推進協会 代表理事 デジタル庁 プロジェクトマネージャー 安原貴彦 みずほ第一フィナンシャルテクノロジー 代表取締役社長 山本忠司 三菱UFJフィナンシャル・グループ 執行役常務 デジタルサービス事業本部長兼グループ CDO 江藤敏宏 三井住友フィナンシャルグループ 三井住友銀行 データマネジメント部 部長 概要：金融機関のデータ活用人材発掘・育成を目指したデータ分析コンペの表彰式を FIN/SUM にて開催いたします。第 2 回金融データ活用チャレンジでは、ノーコードツールや BI ツール等を活用した学習機会や、業界横断のネットワーキングの場も提供し、延べ 1,500 名を超える方々に参加いただきました。
A47	13:40-14:30	パネル 真のデジタルバンクを目指して ～貸す、借りる、運用するを変える試み イヴィ・ウィー DBS 銀行 コンシューマー・バンキング・グループ "マネージング・ディレクター、ファイナンシャル・プランニング&アドバイザー・ソリューション リージョナル・ヘッド 内山誓一郎 クレジットエンジン 代表取締役 岩田太地 NEC 主席ビジネスプロデューサー Painter 代表取締役社長 モデレーター： 牛田遼介 金融庁 総合政策局フィンテック参事官室 チーフフィンテックオフィサー 概要：銀行の持つ融資、調達、運用といった基本業務のデジタル化がグローバルに進んでいる。効率性を高めて顧客満足度を向上させるだけでなく、新しいビジネスを創造する可能性も秘めている。こうしたフィンテック、金融 DX が進んだ先にある真のデジタルバンクはどうあるべきなのか、自由闊達に議論する。
A48	14:40-15:30	金融庁パネル 金融業界のジェンダーギャップ解消に向けた戦略 アマンダ・ウィック Principal, Incite Consulting 清明祐子 マネックスグループ 代表執行役社長 CEO マネックス証券 取締役社長執行役員 橋本ゆかり アフラック生命保険 執行役員 Chief Diversity & Inclusion officer ローラ・ロー Temasek, Director, Investment (Blockchain) モデレーター： 中川彩子 金融庁 監督局 参事官 概要：3 月 8 日の国際女性デーにあわせて、取組みの遅れも指摘される金融業界の女性活躍について、各国・各業界・各社の戦略を問う。各社が行っている好取組事例を共有しつつ、金融業界が女性に選ばれるようになるための方策を検討する。
A49	15:40-16:00	単独講演 SMBC グループがデジタルで創造する社会的価値 磯和啓雄 三井住友フィナンシャルグループ 執行役専務 グループ CDIO

		概要：新中期経営計画で社会的価値創造を基本方針の一つに掲げ、「幸せな成長」を追求する SMBC グループ。その実現のために、デジタルへの取り組みは必要不可欠です。 SMBC グループは、メガバンクグループの中でも率先して IT やデジタルの技術を経営に取り入れ、お客さまのニーズに応える革新的なサービスを創出。時代の変化に柔軟に対応し、新たな価値を創造し続けます。
A50	16:10-17:00	パネル 官公需から広がる中小企業のデジタル経済圏 小松正人 NEC 支配人デジタル・ガバメント推進統括部長 板津浩司 岐阜県 商工労働部 産業デジタル推進課 課長 舩田高志 独立行政法人情報処理推進機構（IPA） デジタルアーキテクチャ・デザインセンター プロジェクト管理者 モデレーター： 大久保光伸 デジタル庁 財務省デジタル統括責任者補佐官 概要：デジタル行財政改革が発足しデジタル庁に事業者のデジタル化等に係る関係省庁等連絡会議が設置されました。会計を軸とした組織横断の取り組みに金融 GIF（Government Interoperability Framework）は重要な役割を担っています。本セッションでは、自治体で成果を挙げている有識者や企業間取引の専門家を交え、G2B2B 戦略や社会的影響、中小企業の新規取引先開拓、そして金融機関やフィンテック企業への期待等について議論します。
A51	17:10-18:00	金融庁パネル テクノロジーで拓く地域の未来 神田潤一 内閣府大臣政務官 中島徳至 Global Mobility Service 代表取締役社長 CEO 菅原壮弘 SOKO LIFE TECHNOLOGY 本部 代表取締役 吉田世博 HashPort 代表取締役 CEO モデレーター： 金光碧 bitFlyer Head of Crypto Strategy Dept 概要：人口減少や高齢化が進む中、地域社会はコミュニティの活性化や交通、人材といった多くの面で問題に直面している。フィンテックや Web3.0 等を活用してこれらの地域課題解決を目指す取り組みが各地で始まっており、現場で奮闘する実務家や政策立案責任者を交えて、テクノロジーを活用した地方創生について議論する。
A52	18:10-18:40	インパクトピッチ表彰式 概要：7 日午後実施したインパクトピッチの表彰式。最優秀賞である「日経賞」に輝くのはどのスタートアップか。乞うご期待！

セッション情報は 2024/03/04 現在の情報です。

今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

FIN/SUM 事務局

シンポジウム HALL A: 丸ビルホール				ワークショップ HALL B: コンファレンススクエア			
3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)	3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)

ワークショップ (HALL B: コンファレンススクエア)

3月5日 (火)

B01	9:00-9:50	スタートアップショーケース 1 Bridgewise 2 モイン 3 ジーフィット 概要：惜しくもインパクトピッチのファイナリストには選考されなかったものの、特に意欲的で成長が期待されるスタートアップがプレゼンを披露します。
B02	10:10-10:50	フィッシング詐欺の現状と対策～狙われる預金を守るには～ 唐沢勇輔 フィッシング対策協議会 副運営委員長 / Japan Digital Design 株式会社 Head of TDD 岩本俊二 PayPay 銀行 IT 本部副本部長／PayPayBank CSrit リーダー 小川秀夫 カウリス 営業担当執行役員 八子浩之 みずほフィナンシャルグループ サイバーセキュリティ統括部 参事役 概要：インターネットバンキングの不正送金被害は 2023 年に急増し、その多くがフィッシング詐欺によるものと言われています。本講演では、改めてフィッシング詐欺の最新動向と利用者および金融機関における対策についてポイントを解説します。そのうえで、最前線に対応する実務者とともに今後の対策がどうあるべきかについてパネルディスカッションを行います。
B03	11:00-12:30	地方銀行の DX 戦略～選ばれる銀行になるために～ powered by NEC 小坂井智浩 OKB 大垣共立銀行 システム部 部長 砂川雄一郎 おきなわフィナンシャルグループ ICT 統括部 部長 兼務 沖縄銀行 システム部 部長 藤原孝樹 東京スター銀行 IT 所管 執行役 酒井良平 愛媛銀行 常勤監査役（前事務システム部長） 井上紀文 NEC 金融システム統括部 統括部長 モデレーター： 杉本晶子 日本経済新聞社 編集 地域報道センター 地域ビジネスエディター 概要：低金利政策や人口減少などの地域を取り巻く経営環境の変化や、デジタル技術の進展を受け、ビジネスモデルを変革していく必要がある地方銀行。 本講演では、地方銀行 4 行の識者を招き、変化する顧客ニーズや異業種による金融事業参入といった昨今の動向を踏まえ、各行が目指す DX 戦略とそれを可能にするシステムや IT 組織のあるべき姿に迫る。
B04	12:40-13:40	ソニー銀行の web 3 領域における取り組み powered by ソニー銀行 渡邊尚史 ソニー銀行 執行役員常務 金森伽野 ソニー銀行 DX 事業企画部 部長・Chief Fintech Strategist 、SNFT 概要：ソニー銀行は、ソニーグループそしてソニーフィナンシャルグループの一員として 2021 年に創業 20 周年を迎えました。引き続きインターネットを活用して、お客様に安心安全で便利な金融サービスを提供すると共に、web3 領域においてもグループ連携を軸に積極的に取り組んでいます。直近の web3 関連の取り組みや、近くリリース予定の新プロダクツなど我々の戦略をご紹介します。
B05	13:50-14:50	三菱 UFJ 銀行とグルーヴノーツによる、テクノロジー活用の新たな展開 powered by MUFG 最首英裕 グルーヴノーツ 代表取締役社長 鶴田貴大 三菱 UFJ 銀行

		概要：三菱 UFJ 銀行とグルーヴノーツは、2023 年より金融領域への新技術の適用において提携し、お客様への価値提供の向上や業界の発展に向けて、多数のプロジェクトを推進しています。その中で、社会的関心も高い生成 AI/LLM の活用について、三菱 UFJ 銀行リスク統括部におけるリスク分析の高度化のプロジェクトを中心に、実際の取り組みを通じて得た知見や共通の課題、今後の展開を紹介します。
B06	15:00-16:30	金融・経済の発展に欠かせない「デジタル証拠」について powered by リーテックス 加毛 明 東京大学大学院 法学政治学研究科・法学部教授 阿久沢佑介 NTT データ 金融戦略本部技術戦略推進部 プロジェクトサポート担当課長 小倉隆志 リーテックス 代表取締役 小泉 格 リーテックス 執行役員 CSO 孫 紹迪 リーテックス 執行役員 CTO 山川 寛 リーテックス 執行役員 モデレーター： 有吉尚哉 西村あさひ法律事務所・外国法共同事業 パートナー弁護士 概要：フィンテックは、さまざまな金融取引、商取引をデジタルの力で効率化・機動化し、新しい付加価値を生み出す可能性を秘めているが、それを実現するためにはデジタル契約書やデジタル請求書が本物であるという「デジタル証拠」を法的に確立する必要がある。それは現状、どうなっているのか。金融や経済の発展を後押しするために必要なことはなにか。各界の専門家が議論を交わす。
B07	16:40-17:10	従来の eKYC 手法の廃止の先にある、 マイナンバーカードを活用した金融 DX とその課題 powered by xID 日下光 xID 代表取締役 CEO 加藤誠弘 SocioFuture ソリューション企画本部 副本部長 概要：2023 年 5 月にデジタル庁が発表したデジタル重点計画により、犯罪収益移転防止法のワ方式(JPKI)以外の手法の廃止の検討が示されています。それに伴い、金融機関のマイナンバーカード活用の検討は待ったなしの状態です。継続的顧客管理業務の DX までを目指したマイナンバーカード活用に関する課題と展望について、両分野に関わる 2 社で対談します。
B08	17:40-18:30	AI 活用を推進するための AI ガバナンス powered by 日本マイクロソフト リー・ヒッキン マイクロソフトアジア AI テクノロジー&ポリシーリード 柳瀬 護 金融庁 総合政策局 審議官 福島 雅宏 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス 金融リスクコンサルティング パートナー モデレーター： 小川 綾 日本マイクロソフト 政策渉外・法務本部 業務執行役員 法務本部長 概要：AI は社会全体に大きな活用可能性がありますが、その一方で AI に関する懸念やリスクへの指摘する声も少なくありません。AI の活用を推進していくためには、AI を安心して安全で信頼ある形で活用するためのガードレールとして AI ガバナンスが重要になります。本セッションでは、AI ガバナンスに焦点をあて、各企業における取組の紹介および有識者によるパネルディスカッションを行います。

シンポジウム HALL A：丸ビルホール				ワークショップ HALL B：コンファレンススクエア			
3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)	3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)

ワークショップ (HALL B：コンファレンススクエア)

3月6日 (水)							
B09	8:50-9:40	CB-Tech の最前線 6th GIG: 幸福を求むる者は夢なかるべからず powered by 日本銀行 風戸正行 日本銀行 金融研究所制度基盤研究課情報技術研究センター デジタルトランスフォーメーション研究グループ デジタルトランスフォーメーション研究グループ長 橋本崇 日本銀行 金融機構局 企画役 菅和聖 日本銀行 金融研究所 企画役 モデレーター： 杉村和俊 日本銀行 決済機構局 企画役 概要：わが国の Central Bank (CB) である日銀の最新のリサーチ成果を紹介するフラッシュトーク。第6弾の今回は、①Project Ellipse：BISIH の Suptech プロジェクト、②オンラインでの本人確認 (eKYC) に関する国際標準と関連技術、③大規模言語モデルの原理と応用上の課題について、日銀の Tech リード達が解説します。新紙幣の顔の一人である渋沢栄一は、「夢七訓」の中で「幸福を求むる者は夢なかるべからず」と述べました。私たちの大きな挑戦とその成果にご期待ください。					
B10	9:50-10:40	金融庁 オープンバンキング／ファイナンス再考 ～グローバルトレンドから見る持続可能なビジネスモデルへの道～ ジェイソン・チョミック Director of Canada, Financial Digital Exchange ジョン・ピッツ Global Head of Policy, Plaid 工藤達雄 オースリート Country Manager, Japan シャダブ ティエイビ President, Singapore Fintech Association モデレーター： 崎村夏彦 OpenID Foundation 理事長 概要：決済や保険といった金融機能がメッセージングアプリなど非金融プラットフォームに埋め込まれるトレンドは継続しており、API を通じて金融機関とサードパーティ間でセキュアかつ効率的にデータをやりとりする重要性は益々高まっている。他方で、金融機関側からは「リスクやコストを上回るメリットが見出せない」といった意見も引き続き聞かれるところ、本セッションでは国内外の先進的事例や課題の共有を通じて、オープンバンキング／ファイナンスの持続的発展に向けた課題と方策について議論する。					
B11	10:50-11:50	シン・資産運用 ～幸福な成長をもたらす資産運用・資産形成のあり方と広がり～ powered by MUFG 田中誉俊 三菱 UFJ 銀行 デジタルサービス企画部 次長 笹嶋靖史 ファンズ 取締役 CBDO/事業開発本部長 小林浩 東急リバブル DX 推進部 DX 推進課 マネージャー モデレーター： 前川純一 三菱 UFJ 銀行 デジタルサービス企画部 調査役 概要：政府の掲げる資産運用立国の実現に向け、24 年から新 NISA（少額投資非課税制度）も開始し、個人や企業の資産運用に対する関心やニーズは一層高まっている。一方で、一言に資産運用ととってもその方法や考え方はさまざまである。					

		今回の講演では、「シン・資産運用」をテーマに、業種や企業の垣根を超えた登壇者の皆様で、「アプローチの多様化」、「企業コラボレーションによる提供方法の多様化」、その先にある「幸福な成長をもたらす資産運用・資産形成のあり方と広がり」について意見交換を行う。
B12	12:00-12:50	金融庁 ブロックチェーン向けの新しいガバナンス・アプローチ (BGIN) アマンダ・ウィック Principal, Incite Consulting クロエ・ホワイト Independent Advisor, Riskmastery.xyz ジョセフ・ビバリー Soulbis Executive Co-Founder SingularityNET Strategic Initiatives Office モデレーター： 松尾真一郎 バージニア工科大学 研究教授 ジョージタウン大学 研究教授 概要：2020 年に G20 大阪宣言での国際合意を経て設立されたグローバルフォーラム、BGIN (Blockchain Governance Initiative Network)。マルチステークホルダーによる議論やドキュメント策定を通じたブロックチェーン・ガバナンスへの過去3年間の貢献と、最新技術・規制トレンドに対する具体的な取組みを紹介する。
B13	13:00-14:00	決済パフォーマンスが事業成長を左右する ～グローバルの最新データ・トレンドから考えるオンライン決済の最前線～ powered by Stripe 谷川真一 三井住友カード アクワイアリング統括部（東京）部長 余伝道彦 Stripe 取締役 パートナーシップ担当 池田尚史 Stripe APAC パートナーソリューションエンジニア チーム パートナーソリューションエンジニア 今泉徹 Stripe サービスアカウントマネージャー 概要：決済の戦略策定を行う専門チームを設けるなど、事業収益に直結する決済分野への投資がグローバル企業の標準となりつつあります。急増する不正利用対策を講じつつも、ユーザーの離脱を損なわずに機会損失を防ぐ必要性など、事業者求められるハードルはより高くなっています。 本ワークショップでは、最先端の API や製品開発を通じて様々な事業者の成長を支援してきた Stripe が、最新の国内外でのデータやトレンド、技術の紹介やディスカッションを行います。
B14	14:10-15:00	金融庁 スタートアップ企業によるベンチャーデットの利活用 岩井亮三 三菱 UFJ 銀行 成長産業支援室 調査役 赤岡央崇 みずほ銀行 審査第一部イノベーション企業審査室 室長 武田悠紀 三井住友銀行 成長事業開発部 上席部長代理 鈴木壘 ユニバーサルミュージック合同会社 上席執行役員 CFO 渡邊貴史 セーフィー 営業本部 第2ビジネスユニット 公共グループ 兼 経営企画部 IR グループ(CVC 運用担当) 部長補佐 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 NEP 技術経営アドバイザー モデレーター： 高鍋峻輔 金融庁 監督局総務課 課長補佐 概要：スタートアップ企業の中には近年、株式発行を通じた資金調達（エクイティ調達）だけでなく、銀行融資等のベンチャーデットによる資金調達を行う企業も増えている。各金融機関もベンチャーデットを提供するための体制を強化しており、今回のパネルでは、3メガバンクから具体的な取組事例を紹介してもらい、スタートア

ップ側の生の声も交えながら、ベンチャーデット市場の今後の展望を議論する。

B15

15:10-16:00

金融庁パネル

AI×ブロックチェーン：「会計と簿記の再発明」に必要なパーツが揃ったか

Robert Wardrop ケンブリッジ大学教授

野間幹晴 一橋大学 大学院経営管理研究科 教授

モデレーター：

伊藤穰一 千葉工業大学 学長 デジタルガレージ 共同創業者兼取締役

概要：ブロックチェーンのプログラマビリティ・検証可能性と生成AIのプロセス自動化は相互補完的であり、例えば、会計・簿記の世界では、これまで捨象していたような非定型情報の取り込みや、一定の閾値を越えた際に自動でアラートを出すといった活用可能性も考えられる。実際のアプリケーションのデモも示しながら、活用可能性と課題を議論。

B16

16:10-17:40

デジタル通貨 DCJPY ネットワークが拓く DX 社会 powered by ディーカレット DCP

概要：社会 DX や経済の発展につながるというデジタル通貨とはいったい何なのか、どのような活用ができるのかを4テーマに分けてお伝えします。今年7月の開始がすぐそこまで来ている内容のテーマから、将来多くの企業で利用が広がったら実現できるようなお話のテーマなど、それぞれのご登壇企業の取組みについてご紹介します。

・第一部：環境価値のデジタル化

小野沢宏晋 GMO あおぞらネット銀行 執行役員

山井美和 インターネットイニシアティブ 常務執行役員 基盤エンジニアリング本部長

時田一広 ディーカレット DCP 専務執行役員 事業統括

モデレーター：

山岡浩巳 フューチャー 取締役 グループ CSO デジタル通貨フォーラム 座長

概要：日本初・上場企業初となる銀行預金をトークン化したデジタル通貨 DCJPY や環境価値トークンの実用について、なぜデジタル通貨の発行に至ったのか、なぜ環境価値取引に利用するのかなどをご紹介します。

・第二部：デジタル証券×DCJPYで描く構想

沼田薫 野村ホールディングス デジタル・カンパニー担当 兼 営業部門マーケティング担当 執行役員 野村證券 執行役員

小林英至 Securitize Japan Country Head, Japan

時田一広 ディーカレット DCP 専務執行役員 事業統括

モデレーター：

山岡浩巳 フューチャー 取締役 グループ CSO デジタル通貨フォーラム 座長

概要：最近頻繁に目にする「デジタル証券」や「セキュリティトークン」とは何か、デジタル証券による自己募集の特徴やメリットとは、今注目されている新たな資金調達に関する取組みについてお話しします。

・第三部：DCJPY/NFTを活用した企業の取り組み

大江紀貴 大同生命 共創戦略部長

時田一広 ディーカレット DCP 専務執行役員 事業統括

モデレーター：

山岡浩巳 フューチャー 取締役 グループ CSO デジタル通貨フォーラム 座長

概要：デジタル上で蓄積された企業の商取引データと、SBT(ソウルバウンドトークン)や NFT(非代替性トークン)を活用して、中小企業のビジネスチャンスにつなげられる可能性をお話しします。

・第四部：DCJPY ネットワークがもたらす商取引の DX 革新

福田圭 日立製作所 ブロックチェーン推進部 部長

平子恵生 ミロク情報サービス 最高デジタル責任者 DX 事業戦略室長 執行役員
MJS Finance & Technology 代表取締役社長

葉山揚介 ディーカレット DCP 取締役 ビジネスアライアンス本部長

モデレーター：

山岡浩巳 フューチャー 取締役 グループ CSO デジタル通貨フォーラム 座長

概要：デジタル通貨フォーラムでは、会計システム・ERP・EDI 企業・事業会社等が集まり企業間取引の DX プラットフォーム構築に向け、Invoice Chain 分科会で議論をはじめます。商取引の革新を目指し、取り組み背景や目指す将来像について語ります。

B17

17:50-18:40

生成 AI 時代の最新テクノロジー適用に必要な経営者の力とは？

中島淳一 金融データ活用推進協会 顧問

多木嘉一 三菱 UFJ 信託銀行 業務 IT 企画部 執行役員部長

植松哲也 大和総研 常務取締役 金融 IT 協会 理事

モデレーター：

山口省蔵 NPO 法人金融 IT 協会 理事長

概要：金融機関のビジネス成長に欠かすことが出来なくなった IT 技術。金融機関内で最新の IT 技術を導入し続け、企業が成長し続けていくために経営者に求められる力は「技術・ビジネスの理解」「組織構築」「決断力」など多岐に亘る。本セッションでは、金融業界を代表する経営陣がそれぞれの立場で、経営者に必要な力を深掘りしていく。

シンポジウム HALL A：丸ビルホール				ワークショップ HALL B：コンファレンススクエア			
3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)	3月5日(火)	3月6日(水)	3月7日(木)	3月8日(金)

ワークショップ (HALL B：コンファレンススクエア)

3月7日 (木)							
B18	8:50-10:20	詐欺サイト対処机上演習 (mini 版) ファシリテーター： 林憲明 フィッシング対策協議会 詐欺サイト対処机上演習 TF 主査 / トレンドマイクロ (株) プリンシパルセキュリティアナリスト 概要：フィッシング詐欺は依然と増加傾向にあります。金融関連でも被害が多発しています。このような状況を踏まえ「詐欺サイト対処机上演習」を企画しました。これは、「ブランド戦略」を採る事業者がたとえ詐欺被害の経験がなくても、プレイブック策定のきっかけや気づきを得ることを目的とした施策の一つです。本セッションでは参加者の声から得た洞察を交え、ブランド詐称対策の具体的な手法と教訓を紹介いたします。					
B19	11:00-11:40	決済を通じて社会に新しい価値を～スマート・サステナブル金融包摂の実現 powered by TIS 音喜多功 TIS DX ビジネスユニット 常務執行役員 副ディビジョンダイレクター 概要：コロナ禍や政府の後押しにより、国内のキャッシュレス決済比率は上昇が続いています。また、企業中心に始まった DX の波は一般社会に広がりを見せ、さまざまな「もの」や「こと」がデジタル上で再現されるようになり、データを活用した新たなイノベーションへの期待が高まっています。半世紀にわたり決済インフラをシステムで支えてきた TIS が、10 年先を見据えてキャッシュレスを活用したビジネスの可能性についてご紹介します。					
B20	11:50-12:20	生活者が選択できる社会を実現するデジタル ID ウォレット powered by TRUSTDOCK 千葉孝浩 TRUSTDOCK 代表取締役 CEO 肥後彰秀 TRUSTDOCK 取締役 CISO 概要：個人がデジタル上で身元証明・自己証明するシーンが増え、eKYC も社会実装が進み、企業側の顧客確認はデジタル化しつつある。他方、個人側のデジタル化は、個人データ管理も含めまだまだ未開拓の領域。デジタル ID ウォレットや PDS と呼ばれる概念も、いよいよ社会実装の時期にきている。多様性と選択肢のあるデジタル社会の実現に向けた、デジタル ID ウォレットの取り組みをご紹介します。					
B21	12:50-13:30	生成 AI を活用した行内ナレッジ検索の実践例と顧客サポート DX への応用 powered by Helpfeel 洛西一周 Helpfeel 代表取締役 CEO 概要：最近、銀行内のさまざまなナレッジを効果的に活用する目的で生成 AI を活用するケースが出てきています。実際、生成 AI を活用して必要なナレッジを素早く検索できるようにすることで行内の幅広い業務を効率化することが可能です。加えて、お客様からの問い合わせ内容をナレッジとして検索できるようにすることで、顧客サポート DX の推進にもつながります。そこで本セッションでは、AI を活用した行内ナレッジ検索の実践例と、顧客サポート DX への応用について紹介します。					
B22	13:40-14:10	ステーブルコインがもたらすフィンテックの進化 ～フィンテックを推進させるステーブルコインのユースケースと可能性～ powered by G.U.Technologies 渋谷定則 みんなの銀行 サービスプランニンググループ グループリーダー 白石陽介 日本暗号資産ビジネス協会 ステーブルコイン部会長					

		近藤秀和 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CTO モデレーター： 稲葉大明 Japan Open Chain ファウンダー G.U.Technologies 代表取締役 CEO 概要：まもなく発行されるステーブルコインに携わる関係者と共に、DX 施策への活用、フィンテックの更なる進化などのユースケースについて議論します。ステーブルコインは、スマートコントラクトによるプログラマブル、即時かつ透明な決済、国際送金、大量のマイクロペイメントによる新しいビジネスモデルの実現、トークン化による新しい投資機会の創造、RWA や NFT のような web3 決済手段として利用が期待されています。
B23	15:00-15:50	金融庁 パネル ～保険会社×スタートアップ～ プロテクションギャップへの対応 藤岡晋 三井住友海上火災保険 ビジネスデザイン部アライアンス シニアディレクター アレクサンダー・パイ Marsh Senior Vice President 李 暢 Plug and Play Japan Fintech/Insurtech VP 一般社団法人 Fintech 協会 理事 丸山倫弘 Tractable KK カスタマーサクセス 日本ヘッド モデレーター： 河合美宏 OECD 保険私的年金委員会 Chairman 東京大学公共政策大学院客員教授 概要：100 年に一度とされる大型自然災害が頻発し、気候変動が損保業界に与える影響は否定できない。(再) 保険マーケットがハード化している中で顧客に安定的な補償を提供していくための課題、AI をはじめとするテクノロジー活用の可能性、スタートアップ企業との協業状況などについて議論。
B24	16:00-17:00	web3 時代の安定した資産運用 powered by ムロオシステムズ マックス・フア ビットメイン CFO 二宮暢昭 ムロオシステムズ Green Blockchain 担当 執行役員 周 冠峰 Antalpha Prime 最高戦略責任者 概要：現物ビットコイン ETF 承認と新時代資産運用のはじまり
B25	17:10-18:10	革新的テクノロジーを用いた新ビジネス創出を加速する ～規制改革に向けた「規制のサンドボックス制度」の活用～ 岡田陽 内閣官房 新しい資本主義実現本部事務局 企画官 夏山昌和 リンクス 取締役 CTO モデレーター： 小川恵子 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス バンキング・アンド・キャピタル（銀行・証券）マーケットリーダー、レグテックリーダー、パートナー 概要：生成 AI や Web3 等の革新的テクノロジーを用いた新ビジネスを展開する際、既存の法規制が課題となる場合があるが、規制のサンドボックス制度を活用して、実証実験を「まずやってみる」ことで、集まったデータを踏まえて規制改革を迅速に推進することが可能となる。政府は、事業者起点の社会実装と規制改革を強力に支援する政府横断的な体制を構築しており、こうした制度・支援体制を活用しつつ、新ビジネス創出を実現していく方法について議論する。

ワークショップ (HALL B: コンファレンススクエア)		
3月8日 (金)		
B26	9:00-9:40	スタートアップショーケース 1 Habitto 3 STANDAGE 2 Stayway 4 200WEST 概要：惜しくもインパクトピッチのファイナリストには選考されなかったものの、特に意欲的で成長が期待されるスタートアップがプレゼンを披露します。
B27	9:50-10:50	生命保険の最新 DX：パーソナライズ・データによる経営強化～疫学データとプラットフォーム powered by EY & JMDC 浜田貴之 JMDC データイノベーションラボ 執行役員 久野芳之 JMDC インシュアランス本部 執行役員 木下大輔 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス テクノロジーコンサルティング シニアマネージャー モデレーター：青木計憲 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング 金融サービス・コンサルティング 統括リーダー 兼 保険コンサルティングセクターリーダー／パートナー 概要：超寿命化・価値観の多様化がさらに進む中、テクノロジーの進化・プラットフォームの出現により顧客のニーズも自分のライフスタイルにあったパーソナライズなサービスを求める傾向が増えています。本ワークショップでは、日本最大規模の疫学データ（約 1,600 万人のレセプト・健診データ）を保有されている JMDC 様をお迎えし、EY と JMDC 様で進めている生命保険ビジネスにおける①保険のパーソナライズ化②保険事務のさらなる自動化・効率化③未病・予防などの付加価値サービス提供に関する実現性と最新の検討内容をデジタル庁推進のマイナナンバーポータルの状況もふまえ、議論します。
B28	11:00-12:00	多様化する MUFG のスタートアップ投資 powered by MUFG 岩野秀朗 三菱 UFJ 銀行 成長産業支援室 室長 田口順一 三菱 UFJ キャピタル 投資第二部 部長 佐野尚志 三菱 UFJ イノベーション・パートナーズ Chief Investment Officer 鶴岡秀規 三菱 UFJ 信託銀行 法人マーケット統括部 事業企画室 新規事業グループ 次長 兼 グループ長 概要：MUFG はグループ一体となって次世代の産業を担うスタートアップへの支援に力を入れています。本セッションでは、銀行、信託、VC、CVC の MUFG4 社による、多様化するエクイティ支援についてご紹介します。
B29	12:10-12:40	広がる直接金融の世界、そのスキームと事例～50 社以上にプラットフォームを提供するグローシップ・パートナーズによる解説～ powered by グローシップ・パートナーズ 松井晴彦 グローシップ・パートナーズ 代表取締役 オーナーシップ 代表取締役 概要：金融商品取引法や不動産特定事業法の整備により、資金需要者がインターネットを通じて資金提供者に直接つながるキャピタルマーケットが、確実に広がりを見せています。また、その出資持分をトークン化の動

きも加速しています。当社が提供する「CrowdShip Funding」「OwnerShip」が実現する投資型クラウドファンディング、デジタル証券、デジタル社債の仕組みとその事例を紹介します。

B30

13:00-13:50

インドデジタル金融の「いま」 powered by MUFG インド

マドウスダン・エカンバラム KreditBee 管理 共同創業者 兼 CEO
ディー・ヴェンカテシュ Lentra 創設者 兼 CEO
アンキット・アグラワル InsuranceDekho 共同創業者 兼 CEO

モデレーター：

吉田健太 三菱 UFJ 銀行 上席調査役

概要：インドの FinTech ではいま何が起きているのか？3 人の著名なスタートアップ創業者が初来日し、急成長を遂げているインドのデジタル金融を語りつくします。本人認証や電子決済を含むデジタル基盤、その基盤を活用した個人向け融資・保険・SaaS の隆盛、Fintech エコシステム、そして日本企業にとっての機会等について議論します。

B31

14:00-15:00

デジタルが活性化する地域の生活と企業活動

～北國銀行の預金型ステーブルコインから拡がる、新たな地域創生モデル～ powered by AWS

寺井尚孝 北國フィナンシャルホールディングス 経営企画部 常務執行役員 経営企画部長
北國銀行 デジタル部 常務執行役員 デジタル部長
番匠啓介 石川県総務部デジタル推進課長
田部真史 金融庁 銀行第二課 課長

モデレーター：

松本肇子 アマゾン ウェブ サービス ジャパン 金融事業開発本部 プリンシパル イノベーション スペシャリスト

概要：地域創生の取組みにおいてデジタルを活用した施策が増えてきました。北國銀行では、預金型ステーブルコインの発行を今月末に控えています。キャッシュレスという新たな顧客体験は、この先どのように発展し、地域の人々の生活や企業活動を活性化し、行政の施策を円滑化していくのでしょうか。本セッションでは、北國銀行と石川県のデジタル推進のキーパーソンに、金融庁からもパネリストを迎え、官民がそれぞれどのような役割を果たし、地域に“幸福”な成長をもたらしていけるかを考えて参ります。さらに、今年 1 月に発生した能登半島地震からの復旧・復興におけるデジタル技術の持つ可能性も探っていきます。

B32

15:10-16:10

地域課題 × 金融サービス ～地域に寄り添うこれからの金融サービスとは～ powered by GMS

奥田昭義 アプラス 市場開発第一部 副部長
宮武宏之 昭和リース パートナービジネス部門 執行役員 パートナービジネス部門長
安田次朗 大垣共立銀行 IT 統轄部 執行役員 IT 統轄部長

モデレーター：

中島徳至 Global Mobility Service 代表取締役社長 CEO

概要：日本は人口減少により全産業領域で人手不足が深刻化しています。特に地方はその影響が大きく、多様な人材を受け入れ活躍してもらうことが喫緊の課題となっています。本議論は人材の確保に焦点が当たりがちですが、確保した人材が長く地域で暮らしていく観点で金融サービスの果たす役割は大きいと考えます。そこで本セッションは、地域社会における金融の役割や課題に焦点を当て、各プレイヤーの具体的な取り組みを共有し、地域に寄り添う金融サービスのあり方についてディスカッションします。

B33

16:20-16:50

Fintech と Web3 の融合は起きるのか powered by Ginco

永沢岳志 メルペイ 代表取締役 CEO
森川夢佑斗 Ginco 代表取締役

モデレーター：

神本侑季 N.Avenue (CoinDesk JAPAN) 代表取締役社長

概要：ビットコイン現物 ETF や RWA トークン、ステーブルコインの普及など、今グローバルでは「Fintech」と「Web3」の垣根が少しずつ取り去られつつあり、証券口座からビットコインを、ウォレットアプリから米国債が買える時代が到来しようとしている。はたして、この流れは日本にも訪れるのか？訪れるとした場合その時期は？主導権を握るプレイヤーは？Fintech と Web3、それぞれのリーディングカンパニーが日本における Fintech と Web3 の融合について議論する。

B34 17:10-18:00 金融庁 地銀×イノベーション拠点としてのシリコンバレー

大杉幸弘 静岡銀行 東京営業部 ベンチャービジネスサポート部 部長

渡邊迅人 浜松いわた信用金庫 ソリューション支援部新産業創造室 調査役

菅田純登 米国富士通研究所 技術戦略本部 シニアディレクター

岡田大 金融庁 監督局 参事官

モデレーター：

齊藤健一 Sozo Ventures シニアディレクター 一般社団法人 Fintech 協会 理事

概要：米国シリコンバレーでオープンイノベーションに取り組む金融機関の中に、地域金融機関が加わってから数年がたつ。シリコンバレーに職員を派遣している地域金融機関を中心に、足元までの具体的な実績、直面している課題や今後の展望等について、IT 企業、ベンチャーキャピタル、金融当局を交えて議論する。

セッション情報は [2024/03/06](#) 現在の情報です。
今後の状況により変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。